

厚生労働省は「医療と介護の多職種連携」の重要性に着目し、数年前から診療報酬や介護報酬に「医療連携加算」「退院・退所加算」を新設するなど現場での相互連携を推奨してきました。

しかし、そうは言っても、介護・福祉分野の職員が医療系の職員と連絡を取って情報交換するには、敷居が高く感じることがしばしばあります。

「自分はどんな情報が提供できるのか」「相手はどんな情報がほしいのか」が双方ともに不明確なまま連携しようとすると、せっかく開いたカンファレンスが深まらず、情報提供書の交換で終わってしまいかねません。

十勝連携の会が結成された背景には、こうした職種間ミスマッチを何とかしたいという思いがありました。活動の3大ミッションに「連携ツールの開発」が入っているのはそのためです。

私たちは、道医療連携推進事業2年目のテーマとしてツールの開発に取り組み、「3つの武器」を作りました。今回は最初の武器「お口の課題チェック票」をご紹介します。

お歯科医師会とコラボレーション

「お口の課題チェック票」は2013年2月、道 歯科医師会・十勝歯科医師会と一緒に開発した ツールです。

同省の2011年度人口動態統計で、それまで日本人の死因3位だった脳血管疾患が4位に後退し、肺炎が第3位になりました。この肺炎による死亡者のうち65歳以上の高齢者が約97%を占め、その多くは誤嚥による肺炎だと言われています。すなわち、私たちが日頃接している高齢者がまさにハイリスクグループであり、誤嚥性肺炎を防ぐことができれば、達者な人生を全うできる人がそれだけ増えると言うことです。

道歯科医師会はここに着目し、十勝をモデル地区に選んで地域の医療・福祉関係者と検討会を立ち上げました。私たちのメンバーも検討会に加わり、在宅や施設の高齢者を歯科医療に近づけるためのツール開発を一緒に進めました。

3回に渡る喧々囂々(けんけんごうごう)の議論を経て完成したのが「お口の課題チェック票」(図)です。

出口の中のことは専門家でないと…###

検討会を開いて分かったことは、医師や看護師、ケアマネの多くが歯科口腔分野についてあまり詳しくなく、歯科医師、歯科衛生士の実践とは相当な距離があったと言うことです。

たとえばケアマネなら「利用者が入れ歯をしていることは知っているが、本人の口の中をのぞいて見せてもらったことはない」のが実情でした。歩く、起き上がる、自分で排泄できるといった身体機能のアセスメントは得意なのに「口の中は歯科まかせ」だったと気付かされました。

お口の課題チェック票

対象者氏名:	性別:男・女 年齢: 歳
住所:	電話番号:
紹介者氏名:	所属:
電話番号:	
お口の中に関すること	
□ 痛いところがあるようだ□ 口臭がする	□ 歯が抜けたままのところがある□ 入れ歯を使用していないようだ
□ 歯や入れ歯に汚れが見受けられる□ むせがある	□ 入れ歯が合っていないようだ□ しばらく歯科受診していない
□ 飲み込みにくいようだ	□ その他 ()
その他伝えておきたいことなど	
食に関すること	
最近3カ月間に、食事量が減少しましたか?	

【連絡先】十勝歯科医師会在宅歯科医療連携室 受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00 電 話(0155)25-2172 ファックス(0155)22-8024

十勝歯科医師会が開いてくれた口腔ケア実習にメンバーが参加し、口の中はどうなっているのか、口腔ケアをしないとどれだけ危険なのか、身をもって体験することでそうした理解が深まりました。

こうしてつくられた「チェック票」は、在宅や施設の現場で働く介護職員やケアマネが書きやすい書式にしました。

「お口に関すること」としてあげた10項目に

は、「痛いところがあるようだ」のように推量形で書かれたものが4つあります。「口臭がする」など介護者がはっきり判別できるものはそのままにしましたが、観察だけでは判断しにくい項目は「~のようだ」です。

下段の「食に関すること」は、アンケート 形式なので悩まずに記入できます。

記入したチェック票は、1項目でも心配なことがあれば十勝歯科医師会にそのままファクスします。歯科医師会には在宅歯科医療連携室が置かれ、専任歯科衛生士が常駐していますので、すぐに相談に応じることができます。

まず歯科衛生士が在宅や施設に出かけ、 患者さんの口腔の状況を観察・アセスメントします。そこにケアマネや介護職員が同 席することで専門的な見地が得られる仕組 みです。症状によって衛生士の療養指導で 終了することもありますが、状態によって は歯科医師に紹介し治療が始まることも少 なくありません。

最近はこのチェック票活用が定着したことから、ファクスしてもすぐには歯科衛生士が訪問に行けないくらい忙しくなっているそうです。

「お口の課題チェック票」は、十勝連携の会ホームページ(http://www.ten-musu.org/)に掲載されています。

* * *

次回は「おくすり手帳版連携シート」をご 紹介します。